



おかもと けいいち
岡本 敬一

1956年10月27日生まれ。
趣味は、魚釣り、山菜取り、
狩猟とアウトドア。
中でも若いころは、魚釣り
によく行っていたと笑顔で
語ってくれた

何事にもまずは挑戦

岡本さんは、猿払村ご出身で、福永産業株式会社に勤めています。30歳のころには、小石の水島工業に勤められ、個人でダンプカーを購入して石炭採掘をしていたことがあったそうです。ダンプカーが故障した時には、溶接や塗装などの修理作業を自分の手で行うなど、大変なことがたくさんあったが、ときどき職場の方々と集まって飲み会を開いたり、楽しいこともたくさんあってとても充実していたと語ってくれました。

現在は、猟友会に所属していて、休日にはよくシカを狩りに行くそうです。1日に2〜3頭のシカを狩るそうで、過去には1日に15頭のシカを狩ったことがあり、1人では解体しきれず、友人に手伝ってもらったこともあったと笑顔で

語ってくれました。また、部会長の経験もあるそうで、事務局と力を合わせながらなんとか活動してきたと語ります。

猿払村について聞いてみると、「山菜などおいしいものがたくさんでとても住みやすい。田舎だといわれることもあるが住めば都ですね」と笑顔でした。しかし、一時停止を無視するなど交通ルールを守らない人をよく見かけるので、交通ルールの遵守を徹底してもらいたいと語ります。

将来の猿払村を担う若者に向けては、「いろんなことに挑戦してほしい。迷ったらとりあえずやってみるという挑戦心を持ち続けてほしい」と語ってくれました。

welcome!!

新しい役場の顔

10月から猿払村に来た、外国語指導助手（ALT）1名と、国際交流員（CIR）2名をご紹介します。



ALT
ファクター・ギャレット・
リヴァイさん

猿払村に新しくALTとして来ました、ファクター・ギャレット・リヴァイです。ギャレットと呼んでください。アメリカカリフォルニア州のチノという酪農が盛んな町出身です。大学で、日本語と日本の文化を勉強し、昨年卒業しました。

日本のゲームやアニメ、料理が好きで、アニメは、子どもの時から姉と一緒によく見ていました。食べ物では特にラーメンが大好きです。最近では、自分で料理することにもハマっていて、日本のチキンカツや親子丼などを作りました。

猿払村では、魚釣りにチャレンジしてみたいです。また、猿払村の色々な食べ物を食べたいです。これからは、子どもに興味を持ってもらえるように、面白いレッスンを提供していきます。また、自分の日本語がペラペラになれるように頑張っていきたいです。みなさん、よろしくお願いします。



CIR
トン・ティ・ニュンさん

私は、ベトナムから参りましたトン・ティ・ニュンと申します。ニュンとお呼びください。ベトナムのハノイ国家大学外国語大学で日本語文化を3年専攻し、その後北海道大学に交換留学生として1年間留学しました。冬の時最も寒くても気温が10度までしか下がらないベトナムの北の方で生まれた私は、北海道に来た時、初めて雪を見て大興奮でした。

趣味は特にありませんが、食べ物に大変興味を持っています。北海道のスープカレーと海産物が大好きなので、これからお刺身ざんまいの生活を送っていきます。現在、猿払村にいるベトナム人は特定技能として人数が最も多い外国人のようであり、将来的にはもっと増えると信じております。そのことがきっかけで、本村民とベトナム人の方々だけではなく、日本とベトナムとの架け橋になりたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



CIR
ライ・ティ・ジュエンさん

「ジュエン」は日本語で「ご縁があったらまた会おう」という意味なので、もし「ジュエン」と発音しにくければ「ゆかり」とお呼びください。ベトナムの北部にあるナムディン省出身で、3姉妹の次女です。趣味は旅行、カラオケ、犬と遊ぶことです。猿払村に来る前は、日系の自動車部品製造会社で社長の秘書・通訳者として働いておりました。

2年前に九州大学に留学した時、優しい日本人の方々に色々助けて頂きました。今回はその恩返しとして、微力ながらも誰かの力になりたいとの想いで、国際交流員の仕事に応募しました。これから、ベトナムと日本のかけ橋として、一人でも多くの困っているベトナム人の役に立ち、少しでも村民の皆様へベトナムのことを知って頂けるよう、精一杯頑張っていきたいと思います。また、猿払村で、貴重な体験といい思い出がたくさんできるような、仕事と生活を楽しんでまいります。時々おちょこちよいなところがありますので、何か間違えたら大目に見てください。

時代の立役者と
未来を担う若者

紡ぐ時代

つながる未来

今と未来のインタビュー

将来は人の役に立つことをしたい

羽鳥さんは、中学校からバドミントン部に所属。たくさん走る練習が多くて大変だったけれど、メンタルが鍛えられたし、忍耐力がついたとのこと。試合では、1回戦で負けてしまうことが多かったようですが、最後の中体連では、2回戦まで勝ち進むことができて、相手と互角の戦いができて楽しかったと話します。

中学1年生のころと比べると、話し合いの時に、意見を出したり自分の思っていることを言えるようになったとのこと。最初は、緊張してなかなか自分の意見が言えなかったけれど、友達と打ち解けて仲良くなってから上手にできるようになったようです。

現在は受験生なので、勉強に力を

入れていて、家庭学習で1、2年生の復習をしたり、苦手なところを勉強したりしています。

将来どうするかは、まだ迷っているけれど、動物が好きなので、獣医など動物と関わる仕事がしたいと話してくれました。親が農家なので、小さい頃から動物と触れ合う機会があり、それが将来の夢のきっかけにもなっているとのことでした。

猿払村は、自然が多くてきれいなところが好きとのこと。ただ、田舎で何もないので、もう少し何かあってほしいと話していました。

最後に、誰かの役に立つ仕事ができる大人になりたいと、笑顔で話してくれました。



はとり みゆ
羽鳥 実結

拓心中学校3年生。
趣味は音楽を聴くこと。
最近ハマっているのは、
J-Popだとback number、
K-PopだとBTS。

国際交流員（CIR）とは…？

地方公共団体に配置され、国際交流活動に従事する外国人のことです。

猿払村では、企画政策課観光係に配置し、在住しているベトナム人の方への生活相談の対応や日本語教室の開催、日本語通訳、在住者用生活ガイドブックの作成のほか、村の観光業務や情報発信などの活動をしていただきます。